

2019 年度実施概要

学校名

阪南市立西鳥取小学校

採択活動名

地域に根ざした海洋教育

取り組みの概要

全学年で海洋教育に取り組み、海のある地域への愛着と環境保全の重要性を育んだ。

< 1・2年生 >

「海を認識する」ことを目標とし、近くに自然豊かな海があることを知り、海を楽しむきっかけとした。9月に「浜辺の生き物探し」を実施し、持ち帰った貝殻やシーグラスでフォトフレームを作成するなど、他教科へ広げて取り組みを行った。

< 3年生 >

「海を知る」ことを目標とし、海の楽しみ方や、アマモを育てることで海を育むことの大切さを学んだ。7月に実施した「海藻おしば教室」では、海藻を使って思い思いの絵葉書を作成、11月の「アマモ苗床づくり・アマモ播種」では、地域の海の環境を守るためにアマモの育成活動を行った。2月の「チリメンモンスターを探せ」では、身近な食材から海の生き物に親しむ機会となった。

< 4年生 >

「海と関わる」ことを目標とし、理科や社会科と連携しながら生き物の住みかの重要性や環境保全について学ぶと共に、海苔漉き体験を通じて漁業について考えるきっかけとした。

5月の「アマモ苗移植」、6月の「アマモ花枝採取・生き物一斉調査」、9月の「アマモ種子選別」では、昨年度自分たちが育てたアマモの苗を海へ帰したり、海で育ったアマモの種を取って下級生に引き継いだりと、1年以上にわたりアマモの育成に携わることで環境保全について学ぶ機会となった。また、2月に実施した海苔漉き体験では、海の恩恵を実感し、次年度学ぶ社会科の漁業について関心を高める取り組みとなった。

< 5年生 >

「海と漁業の関わりを知る」ことを目標とし、社会科で学ぶ漁業についての学習内容とリンクし、海と陸との水と栄養のつながりを体験する活動となった。

1・2学期の間、社会科において漁業についての学習を深め、6月に田植え体験、9月に稲刈り、12月にワカメ種糸付け、2月にワカメの収穫を行った。また、2月に家庭科で調理実習を行い、白米の炊飯とワカメの味噌汁づくり、タコのおこわづくりに取り組んだ。また、9月に大阪府立青少年海洋センターで臨海学校を実施し、海での活動を体験することができた。

< 6年生 >

6年間の学習の集大成として、「海の活動から、地域や社会について学びを深める」ことを目標とした。6月の「稚魚放流」や11月の漁師の方からの聞き取りを行う「聞き書き」を通じて、漁業も含めた地域の歴史や文化を学んだ。2月には小学校で行ってきた海洋教育の総括として、実践報告会での発表を通じて市内の他校生と交流し、後の活動へ反映するまとめの取り組みとした。

活動中の写真

アマモ花枝採取



アマモ苗移植



アマモ種子選別



ワカメ種糸付け



実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. アマモ苗移植 (4年)
2. アマモ花枝採取・生き物一斉調査 (4年)
3. 田植え体験 (5年)
4. 稚魚放流 (6年)
5. 浜辺の生き物 (1・2年)
6. アマモ種子選別 (4年)
7. 稲刈り (5年)
8. アマモ苗床づくり・播種 (3年)
9. 聞き書き (6年)
10. ワカメ種糸付け (5年)
11. チリメンモンスター (3年)
12. 海苔すき体験 (4年)
13. ワカメ収穫 (5年)
14. 調理実習 (5年)
15. 実践報告会 (6年)